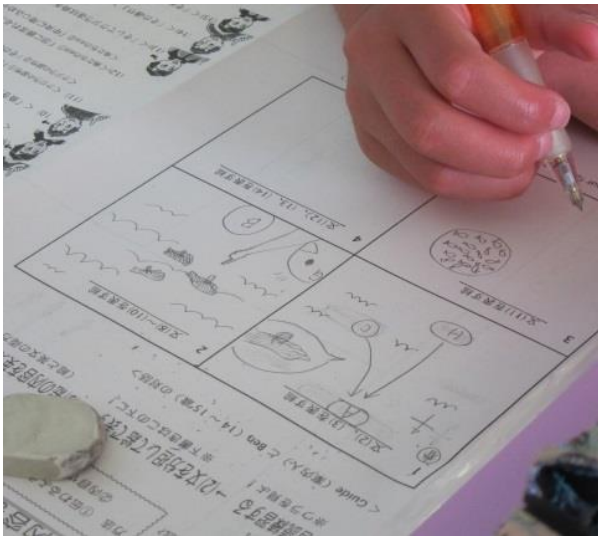


# はにい

## Did you enjoy?

平成29年12月4日



ある中学校での、英語の授業。  
“Close your textbook.”（教科書を閉じて。）  
先生の突然の指示に、生徒たちは戸惑い顔だ。  
先生から出された課題は、教科書の本文で出てきたクジラの様子を、絵で表し、英語で説明すること。

「えーっ！」「教科書を見ちゃだめなの？」  
生徒たちは、戸惑いつつも、互いに声をかけあいながら、まずは絵を描き始めた。  
「クジラって、どんな姿だっけ？」  
「（絵を指さして）上手く描けてるかな？」

互いの描いた絵そのものに対してのやり取りが続く。

「“Whales start moving north（クジラが北へ向かい出す）”って、どう描けばいい？」  
「矢印だったら、移動する様子がわかるかな？そもそも、北へ向かうのはいつだっけ？」  
「クジラってさ、潮を吹くイメージだけど、本文では“blow bubbles（泡を吹く）”って書いてあるよね。なんで？」

「泡を吹くのは魚を捕まえるためじゃなかった？」  
「そうか、トラップ！“trap（罠をかける）”だ！」

仲間との相談は、次第に、本文の内容や英文表現の工夫へと変わっていった。

先生は、生徒たちが試行錯誤して課題に取り組む様子をうなずきながら見守り、時には個別に声をかけていく。



終了のチャイムが鳴っても、生徒たちの手は止まらない。  
“Did you enjoy drawing pictures?”（みんな、楽しんで絵を描けたかな？）

“Yes！”（はい！）

次回の発表にむけ、ワークシートには、それぞれが工夫を凝らしたクジラたちがスタンバイしている。